

## 緑化の取り組みをたたえる

緑豊かな住みよい街づくりのため、久留米市では「くるめ緑の祭典」としてさまざまなイベントを行っています。その一環で5月24日、久留米商工会館で「緑の貢献者表彰式」を開催。積極的に緑化の活動に努めた6団体と4人を表彰しました。同日に西鉄久留米駅東口広場で、「グリーンキャンペーン」も。マリーゴールドなど3種類の季節の花苗や種などを配布しました。



表彰された皆さんは、植栽ボランティアや地域の清掃、花壇の手入れなど長年にわたり活動してきました

## 市地域防災計画を見直し

5月26日、久留米市防災会議が開かれました。災害に対応する関係機関が参加。行政、市民、防災関係機関の役割や取り組み項目を定めた「久留米市地域防災計画」について協議しました。避難所の環境整備や情報伝達手段などを計画に反映。近年の防災への取り組みとして「防災チャットボット」の導入や雨水貯留施設の進展などを報告しました。



会議には関係機関から37人が出席。今後の計画について話し合いました

## エジプトの小学生と英語で交流

5月31日、青峰小の3年生と4年生17人がエジプトのバニー・エビード校（エジプト日本式学校）の3年生33人とオンラインで交流しました。前半は全員が互いの文化や伝統を写真や映像で紹介。その後、一人ずつ好きなスポーツや将来の夢などを伝えました。参加した萩原魁斗さん（4年）は「自分の英語が通じてとても楽しかった」と話しました。



時差が約6時間あるエジプトとオンラインで交流。学んだ英語を使ってコミュニケーションを取りました

## 住みやすいまちのために団結

6月1日に久留米シティプラザで、「暴力団壊滅久留米市民総決起大会」が開催されました。警察や市民の代表など約1500人が集結。原口新五市長は「より住みやすい久留米のために暴力団は必要ない。市民のみなさんと一致団結して排除に取り組んでいきたい」と決意を語りました。最後は参加者全員で拳を突き上げ、暴力団壊滅に向けて一丸となりました。



「暴力団を利用しない、恐れがない、金を出さない、交際しない」とシュプレヒコールで団結しました

## 市内の医療機関へ感謝を伝える

5月31日と6月5日、9日に新型コロナ対応への感謝を伝えるため、原口新五市長が市内の医療機関を訪問しました。聖マリア病院、久留米総合病院、新古賀病院、久留米大学医療センター、田主丸中央病院、高良台リハビリテーション病院、久留米大学病院の7カ所。市長は「医療機関の協力のおかげで、市民の命と健康が守られています」と謝意を述べました。



聖マリア病院での記念撮影。市長が感謝を伝え、アレンジメントフラワーを贈りました

## エツに感謝して学び味わう

6月4日、城島町の六五郎橋河川敷公園で「城島エツ祭（えつっさい）」が行われ、約4000人が来場しました。旬を味わってもらおうと、唐揚げやバーガーなどエツを使ったメニューを販売。エツの生態を研究した城島小6年生の発表や城島中吹奏楽部の演奏もありました。家族と初めて来たという上野みさとさん（三潁町）は「唐揚げは骨も気にならず、食感も良かった」と話しました。



地元の児童がエツを研究して発表。弘法大師が流した葉がエツになったという伝説のヨシが飾られていました

## 市公式 SNS で情報発信中

災害などの緊急情報はもちろん、暮らし、観光、イベント情報など生活に役立つ情報をさまざまな方法で発信中。



「広報久留米」を多言語で

「広報久留米」を無料アプリ「カタログポケット」で配信しています。英語のほか、韓国、中国（繁体字/簡体字）、タイ、ポルトガル、スペイン、インドネシア、ベトナムの各言語に自動翻訳と読み上げをします。

※ QR コードは株式会社デンソーウェブの商標登録です

## TV・ラジオで放送中

KBC テレビ d ボタン

- ①テレビで KBC を視聴
- ②リモコンの「d」ボタンを押す
- ③市の情報を最大 12 項目表示

ドリームス FM (76.5MHz)

- ・ 広報くるめラジオ版 (月～金) 12 時 5 分
- ・ インクルージョンの in 久留米 (土) 14 時 48 分。お笑い芸人が久留米のよかとこを配信

インクルージョン (福岡よしもと)

## 今月の表紙 // 「くるめく宇宙博」を開催



6月3日、4日にISTS開幕イベントを開催。宇宙飛行士の金井直茂さんの講演や月面探査車用タイヤを着けたテスト車の展示なども。